

こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2021年6月20日 NO.1102

きらとみひこ
吉良富彦 です

新屋敷事務所 823-5878
事務所 薊野事務所 846-2046
県議会控室 823-9524

シオマネキ、コアマモ、トビハゼ 新堀川石垣移設で生息なし

●比島交通公園前から南へ進み、新堀川沿いにカルポート前の電車通までを4車線化する工事に伴い、シオマネキやコアマモなど希少動植物の生息が脅かされています。

車道4車線化によってコアマモやシオマネキなどの生息に必要な干潟がなくなり太陽光が届かなくなることを避けるため、横堀公園を東に削り、江戸期や明治期の歴史的石垣はそのまま埋め戻したり移設して干潟の面積を確保する工事が、この5月、完了しました。

●都市のど真ん中にアカメの幼魚や希少動植物が生息する貴重な生態系が、4車線化工事によって破壊されてはならないと、多くの市民が声を上げていました。



横堀公園石垣移設工事(昨年8/5)

それらの声に押される形で、県はこの間、生態系調査にあたってきています。

2017年からの調査結果をもとに私、吉良がまとめたのが、下の表です。この5月から6月にかけて数回行われた調査では、すべての希少動植物の生息が確認できず、生息数なし！という由々しき事態が招来しています。今後、生態系を回復させるあらゆる手立てを、県知事は取るべきです。

希少動植物		2017	2018	2019	2020	2021	【本年5～6月に3種生息調査】 ・5/1、5/2、右岸大型土嚢未設置区間での生息 なし ・5/6、5/7、右岸大型土嚢順次設置区間での生息 なし ・6/6、大型土嚢設置区間内、掘削作業前での生息 なし
コアマモ (8～9月の1日)	単位 m ²	561.6	119.8	246.5	82.8	0 m ²	
トビハゼ (8～9月の1日)	単位 尾	58	158	48	16	0 尾	
シオマネキ	6～7月の3日 個体数	9	17	10	15	0 個	
	9～10月の3日 個体数	15	11	14	13	0 個	



カラリン
にゃんでも通信

感染対策も行う為
県内医療体制は逼迫を増す。感染対策徹底にオリンピックは止める！

●一方、7月11日～30日、県立春野総合運動公園、くらしおアリーナ、須崎市立カヌー場にチェコ63名の選手団。11～20日まで南国市スポーツセンターにシンガポールバトミントン16名選手団来高予定。

●専門家から感染リスクが高まると指摘されても、安全安心と強弁するだけで安全な開催となる感染基準など科学的根拠何一つ国民に示すことなくオリンピック強行しようとする菅政権。野党4党は15日、感染対策のための国会延長を拒否し政治責任放棄した菅内閣不信任案提出。

オリンピック
開催は止める！